

沖 新

同窓会 50 周年記念特別号



同窓会長挨拶

同窓会長 来崎良輝(19C)

これから2年にわたり、中田会長の後任として、会長をさせて頂くことになりました来崎(19回卒業生 工業化学科)です。どうぞよろしくお願ひ致します。

まずは、過日執り行われました佐世保高専同窓会創立50周年記念式典、平成29年度総会および祝賀会において、遠方より大変多くの方々に参加頂きました。誠にありがとうございました。盛大に、そして無事終了できたこと、皆様の協力なしでは出来なかったことであり、誠にありがたく感謝致します。

さて、今号は、同窓会50周年記念号として、通常版+αとしてボリュームアップしています。執筆頂いた皆様、ご協力ありがとうございました。多忙な中にも関わらず、献身を頂き恐縮しております。たくさん懐かしい話が満載です。皆様も高専時代の青春を振り返りながら、そして、目をこすりながら読んでいただければと思います。この号をきっかけに、毎年の会誌に投稿等を希望される方は、「渡りに船」事務局へ連絡いただくと助かります。同窓生で作る会誌です。積極的に参加ください。

同窓会の目的は大きく3つ。1つ目は、会誌発行。2つ目は社会貢献。3つ目は名簿作成です。1つ目は、内容は兎も角として、とぎれることなく作成されているところです。2つ目の社会貢献は、直接的なもの及び間接的なものも含め、多様であり、学生への研究発表助成等も含まれます。これも改善する余地が

感じられますが、予算状況もあり、小規模ながら、継続的に実施されています。3つ目の名簿の作成は、数年前に発行して以来、50周年事業でも作成できませんでした。これは過去からの懸案であるのですが、個人情報保護の観点からも作成することが難しくなっているところです。ただ、現時点で7,000名を超える同窓生のネットワーク支援を断念するのは非常に残念な事であり、社会への貢献にも影響を与えると想像します。歴代の会長もこのような状況の中、現在の社会現象(ツール)であるICT技術を利用し、活用できるネットワークを構築できないか模索してきたところです。今後も少しでも同窓生の為になるネットワーク作りを目標にし、前に進めていければと思っています。まずは、本部、支部での活用と活性化から進めるべく、取り組んでいこうと思います。

以上、簡単ではありますが、同窓会活動への理解と協力をお願いし、お礼と就任の挨拶とさせていただきます。今後ともご指導の程、宜しくお願ひ致します。

次なる半世紀に向けて

佐世保高専校長 東田賢二



昨年2017年は佐世保高専同窓会設立50周年という大きな節目の年を迎え、11月4日にはその記念式典が本校で執り行われました。第一期卒業生の皆様方を初めとして多くの同窓生、そしてご来賓の皆様をお迎えし、お祝いの式典が開催されましたことは真に慶びに堪えません。この半世紀、時代は大きく変わりました。しかし、十代後半からの早期実践教育と

いう世界的にもユニークな教育システムを通じて養われる高専マインドとも呼ぶべき精神の涵養の重要性は不変であり、時代を経てむしろその存在感を増しているように思われます。もちろんその間、本校卒業生の皆様の弛まぬご努力と研鑽、そしてその結果としての輝かしい成果が、佐世保高専の高い評価に繋がっていることは言うまでもありません。全国51高専が国立高専機構として纏まり法人化されて14年が経過しました。そのなかで、各高専の独自性の確立や国際化など新たな取り組みが活発に展開されています。本校でも今年、KOSEN4.0と題する高専機構のプロジェクトで「数理情報系の素養を身につけた地域産業の進化（深化）に貢献する“T型”エンジニアの育成」が採択され、本校の将来計画も着々と築かれつつあります。また中国廈門理工学院との交流に加え、昨年は新モンゴル高専との連携協定を結ぶことが出来ました。なかでも新モンゴル高専の若き校長、シルネン・ブヤンジャルガル氏は本校OBであり、高専教育という素晴らしい教育をモンゴルでも実現し次代を担う自国技術者を育成したいという高い志を以て尽力され、それを実践されていることは特筆に値するものです。

現在の国の財政事情に起因する問題等、直面する課題は数多く有りますが、一方で、本校卒業生の皆様が営々と築かれて来た輝かしい歴史を在校生、教職員一同が胸に刻み、次なる半世紀に向けて、一丸となって佐世保高専の新たな歴史を築くべく邁進する所存です。

同窓会会員の皆様のますますのご活躍を祈念致しますと共に、今後とも本校へのご指導、ご鞭撻、そしてご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

【同窓会 50 周年記念講演会、総会及び祝賀会】

去る2017年11月4日、我が佐世保工業高等専門学校の同窓会50周年を記念し母校体育館で記念式典、記念講演会、その後場所を市内の富士国際ホテルに移し総会、祝賀会を開催しました。記念式典には卒業等約140名が参加、校歌斉唱、中田同窓会会長、東田校長の挨拶がありその後、(株)ジャパネットたかた創業者である高田明氏の「夢持ち続け日々精進」との題で一般の方々も含め約400名の参加で講演が行われました。高田氏のエネルギッシュな語り口、社長に就任したサッカーチームV・ファーレン長崎への強い思い等1時間以上にわたる講演を楽しく拝聴しました。

夕方から始まった総会は高木議長(9M)の進行で会は滞りなく進み中田会長の後任として来崎新会長が選任されました。来賓の朝長佐世保市長のご挨拶の



講演中の高田社長

後記念撮影、祝賀会と和気藹々の雰囲気の中で進められました。

